

先端産業における材料ナノ粒子のリスク評価に関する研究

(独)労働安全衛生総合研究の重点特別研究(平成19~21年度)

研究組織

鷹屋光俊(研究代表者)、齋藤宏之(以上、国際センター)、宮川宗之、篠原也寸志、久保田久代、三浦伸彦(以上、健康障害予防グループ)、芹田富美雄(環境計測管理グループ)、小野真理子(人間工学・リスク管理グループ)、甲田茂樹、戸谷忠雄(以上、有害性評価グループ)、毛利一平(研究企画調整部)

研究課題と研究内容等

研究課題	研究内容	担当者
①ナノに関する国内外の情報収集	文献による研究動向の把握、海外(NIOSH, OECD等)の情報把握、国内研究機関の研究動向(産医大、AIST, NEDO等)、ISO関連	宮川(チーフ)、毛利、鷹屋、小野、齋藤、他全員
②実態調査	アンケート調査 訪問によるインタビュー調査/現場調査	甲田(チーフ)、鷹屋、芹田、小野
③測定手法の開発	測定機器の調整、計量・計測技術の開発検討(環境試料、生体試料)	鷹屋(チーフ)、芹田、篠原、小野、久保田
④暴露評価の開発	実験室レベルでの暴露評価手法の開発、事業所での暴露評価への応用	鷹屋(チーフ)、芹田、小野、齋藤、篠原
⑤ハザード評価の開発	動物への投与手法の開発、動物への暴露実験並びに細胞レベルでのハザード評価法の開発	宮川(チーフ)、戸谷、三浦、久保田
⑥暴露防止対策の提言	保護具の検討、Good Practiceの検証と提案	芹田(チーフ)、鷹屋、齋藤、篠原、甲田

研究スケジュール

研究課題	平成19年度	平成20年度	平成21年度
①ナノに関する国内外の情報収集	■ ■	先行している業績を踏まえてH19からの情報を収集する	
②実態調査	■ ■	関係団体の協力による調査実施	
③測定手法の開発	■ ■	対象のナノ物質の選定は他の研究動向を踏まえる必要がある	
④暴露評価の開発		■ ■	③の研究成果を踏まえ、②で協力の得られる事業所で評価の試みを実施する
⑤ハザード評価法の開発	■ ■	対象のナノ物質の選定は他の研究動向を踏まえる必要がある	
⑥暴露防止対策の提言		■ ■	②、③、④の研究成果を踏まえて総合的な暴露防止対策を提言する